



北心だより

令和7年7月14日 NO.3



学校教育目標

夢に向かって 輝き合う子

北浜北小学校に赴任して3か月が過ぎました。北浜北小の子供たちはとても人懐っこく、授業に入っている子供たちはもちろんですが、そうでない子供たちも私にたくさん声をかけてくれます。とてもうれしいことです。

朝、登校してきた子供たちを昇降口で迎えるところから私の1日は始まります。私の前で立ち止まり、目を見て会釈しながら「おはようございます。」と丁寧に挨拶してくれる子、挨拶だけでなくその日に着ている服を褒めてくれたり、「髪の毛を切った？」などちょっとした変化に気付いてくれたりする子もいます。毎日、たくさんのパワーを子供たちからもらっています。



校内まなびの教室「すまるルーム」

北浜北小学校の1階に「校内まなびの教室」という教室（場所）があるのを御存知ですか。浜松市の不登校支援の一つとして、本校にも設置され6年目になります。浜松市には小学校が95校ありますが、校内まなびの教室の設置校はたった19校のみです。本校の校内まなびの教室は「すまるルーム」という名前です。名前の由来は、

☆ みんな違ってみんないい （すべて^{まる}○）

☆ すべて^{まる}から、居（い）場所ができ、みんな笑顔（すまいる）に…



という願いを込めて、「すまるルーム」と名付けられました。今年度から1階の家庭科室の隣りに教室があります。

では、この校内まなびの教室とはどのようなところでしょうか。集団が苦手、学習や友人関係などに極度の不安があるなど何らかの理由で教室に入れない子供たちが、笑顔で学校生活を送れるように、そして教室復帰や社会自立ができるように支援するところです。小集団によるアットホームな環境で、規則正しい生活を送り、個別活動や集団活動を行う心が安らぐ場所であり、そこで粹のある生活を送っています。「すまるルーム」に立ち寄ると、子供たちはとても楽しそうに、「学習ができた。みんなと活動ができた。」と満足そうな表情をされていてうれしくなります。

毎日子供たちは、家庭と違う「学校」という場所で、自分や家族と違う人と生活をしています。大人でも仕事や人との付き合いの中で、「いやだ」「つらい」と感じると思いますが、子供たちも学校という環境で当然「いやだ」「つらい」と思うようなことがあります。そのときにどのように解決するか、それを日々学んでいるのです。私は子供たちに、「一人一人みんな違う、違って当たり前だよ。」と伝えています。みんなが、一人もおきざりにせず、互いのよさを受け入れ、安心して、気持ちよく生活するためにはどうすればいいか…。いつも子供たちに投げかけています。